



犯罪被害に遭った人やその家族をサポートする大分被害者支援センターに寄せられた2019年度の相談が784件に上り、過去最多となりました。

①19年度の相談が増えた原因を、同センターはどう分析していますか？

18. 年度に県犯罪被害者等支援条例が施行され、関心が高まったのが一因ではないかと分析している。

②19年度の相談の中で最も多く、全体の6割を占めたのはどんな相談で、何件ありましたか？

性的被害の相談で、465件あった。

③「性的被害」に次いで多かった内容を多かった順に三つ書いてください。

▽ドメスティックバイオレンス (D.V.) ▽暴行・傷害 ▽交通事故

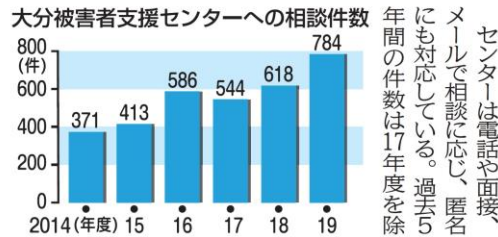
④同センターは犯罪被害に遭った人や家族に何と呼び掛けていますか？

「被害を受けた後の不安について一緒に考えていきたい。秘密は厳守する。ぜひ活用してほしい」と呼びかけている。

19年度・大分被害者支援センター



大分被害者支援センターでは電話や面接による相談を無料で受け付けている＝24日、大分市東春日町



性的被害が6割

増加傾向が続いている。19年度の相談で「性的被害」に次いで多かった内容は▽ドメスティックバイオレンス(DV)▽78件▽「暴行・傷害62件▽「交通事故」56件▽「殺人15件。警察の事情聴取といった手続きに同行するなど、被害者の負担軽減を図る直接支援は184件(前年度比2件増)あった。

このうち、弁護士への面会に同行する「法律相談付き添い」(75件)、診察への付き添いなど「病院関

犯罪被害に遭った人やその家族をサポートする大分被害者支援センター(大分市)に寄せられた2019年度の相談は784件に上り、過去最多となった。性的被害の相談(465件)が最多で約6割を占めた。センタ―は「18年度に県犯罪被害者等支援条例が施行され、関心が高まったのが一因ではないか」と分析している。

相談784件 過去最多

「条例で関心高まった」

連支援(49件)が多くを占めた。付き添う病院のほとんどは心療内科で、センタ―は「被害者が法的、精神的な問題を抱えていることが分かる」と指摘する。

センタ―は00年8月に臼杵市野津町で起きた一家6人殺傷事件を機に03年7月、県内の弁護士や臨床心理士、社会福祉士らが設立した。

事務所は東春日町のNS大分ビルにあり、相談員や支援員ら約20人が対応している。「被害を受けた後の不安について一緒に考えていきたい。秘密は厳守する。ぜひ活用してほしい」と呼びかけている。

利用無料。相談は原則、平日午前9時～午後8時に専用電話(☎097・532・7711)、メール(nfo@ovsc.jp)で受け付けている。面接はセンタ―以外の希望する場所でもできる。(指原祐輔)